



KONDO Takahiro

Petite exposition dans le cadre de la colloque
Utsuwa et utsushi Berceau du temps, Passage des âmes

「うつわ(器)」と「うつし(写)」うつろいゆく形の生命

Réceptacle du passage

ou la vie transitoire des formes
et ses empreintes

モノのかたちの霊的伝播をめぐる | 新たなパラダイムにむけて

vers un nouveau paradigme
de la transmission spirituelle
des formes physiques



OKAMOTO Mitsuhiro



Hiroshi ONISHI

会期: 2015年12月3日|木| — 20日|日| 10:00—20:00 ※会期中無休・入場無料

出展作家: 大西宏志 [映像作家] 大船真言 [画家] 岡本光博 [美術家] 近藤高弘 [陶芸・美術作家]

主催・問い合わせ: モノ学・感覚価値研究会アート分科会 monogakuart@gmail.com 共催: 京都芸術センター 助成: 日本学術振興会科学研究費補助金(科学研究費番号25244011)



Makoto OFUNE

会場: 京都芸術センター ギャラリー南ほか

本展は、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)の交付を得て、国際日本文化研究センターが実施した研究「海賊史観から交易を検討する:国際法と密貿易—海賊商品流通の学際的・文明的的研究」(代表者:稲賀繁美)の成果報告として、今年1月にパリの日本文化会館で行った展覧会の帰国報告展です。

うつわとうつし:うつろいゆく形の生命

稲賀繁美

日本語では現実^{うつつ}は空虚^{うつろ}と共鳴^{うつわ}する。器^{うつ}は空虚^{うつ}な円形^わの輪、窪んだ物体として、モノを取り込み、運搬する。容器^{うつ}がなくては「移す」ことはままならない。その媒体が「穿たれた空虚」である。充実と空無との弁証法がこの「器」あるいは「舟」を媒介として営まれる。それは時空を跨ぐシャトル、渡し守でもあれば棧橋でもあり、揺籠から棺に至るまで、「器」は旅程の途上で「時」の刻印を刻む。それはまた、ひとつの世代から次の世代への「魂の渡し」を司るタイム・カプセルともなる。

ここに見られるモデルは、西欧社会で支配的なオリジナルとコピーとの二項対立を無効にする。というのも(自動詞としての)「うつる」と(他動詞としての)「うつす」のペアは、複写、移動、映写、継承、交換のみならず、取得や憑依をも包含する概念なのだから。精神の「憑依」論理は、ここにあらたなパラダイムを見出す。器^{モノノケ}による移しと刻印という憑依現象を巡る展覧会と、それに付随した討論会の場をつうじて、この「付きモノ」、現実と幻想の間にたゆたい、この世とあの世を行き来する

モノの正体に迫りたい。

こうしたモノの探求という「モノ学」を異文化間対話として試みるなかでは、媒介者=渡し守の役割にも注目したい。文化のあいだには、乗り越えるのが容易くはない亀裂がある。詩人リルケが「間の国」と呼んだこの領域は、アリストテレスの論理学からは「排中律」により排除された「第三項」だった。その隠された「間隙」^{インテルメッツ}、「幕間」^{メソロジー}を探求する試み。その探求「道行」の途上において、一步一步、この「間の国」に秘められた潜在性を明るみに出してゆきたい。

関連企画

アーティスト・トーク

作品前での出展作家によるプレゼンテーションの後、和室明倫に移動して座談会を行います。

◎日時:12月14日[月]13:00-15:00

◎集合:ギャラリー南

※無料・申込不要

◎ナビゲーター

稲賀繁美(国際日本文化研究センター教授/
京都芸術センター運営委員)

京都芸術センター

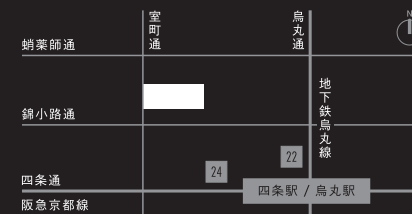
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下
山伏山町546-2

TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004

E-mail: info@kac.or.jp

URL: http://www.kac.or.jp/

JR「京都駅」から地下鉄烏丸線に乗り換え「四条駅」下車、22・24番出口より徒歩5分。阪急京都線「烏丸駅」22・24番出口より徒歩5分。駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



日本学術振興会科学研究費補助金交付成果発表・基盤研究(A)「海賊史観から交易を検討する:国際法と密貿易—海賊商品流通の学際的・文明的的研究」(JSPS KAKENHI Grant Number:25244011)

出展作家

大西宏志

Hiroshi ONISHI

【映像作家】1965年生まれ。京都造形芸術大学教授。映像プロダクション、CGプロダクションのディレクターを経て2002年より現職。

ASIFA-JAPAN(国際アニメーションフィルム協会日本支部)理事、モノ学・感覚価値研究会幹事。

大船真言

Makoto OFUNE

【画家】1977年大阪府生まれ。2000年京都教育大学特修美術科日本画専攻卒業。2001年同大学研究科修了。

岡本光博

OKAMOTO Mitsuhiro

【美術家】1968年京都市生まれ。1994年滋賀大学大学院修了。1994-96年アート・スチューデント・リーグ(USA)。2012年にKUNSTARZT(ギャラリー、京都)開廊。

近藤高弘

KONDO Takahiro

【陶芸・美術作家】1958年京都市生まれ。1994年京都市芸術新人賞受賞。2002年文化庁派遣芸術家在外研修員。2003年エディンバラ・カレッジ・オブ・アート修士課程修了。Inglis Allen Masters賞受賞。